

第十次山口市高齢者保健福祉計画・
第九次山口市介護保険事業計画（案）の変更点

令和6年1月
高齢福祉課
介護保険課

1 すこやか長寿対策審議会委員への意見照会結果

- (1) 募集期間 令和5年11月20日(月)～令和5年12月22日(金)
 (2) 実施結果 意見提出者1名(提出意見1件)

いただいた御意見	該当頁	御意見に対する市の考え方
<p>①「本人発信支援」の目標について、「年1回以上」を「年5回以上」又は、少なくとも「年3回以上」としてはどうか。</p> <p>本人の意見等を、メディア等を通じて発信する機会を増やすことは極めて意義深いことであり、積極的な取組を期待するものであるが、最低ラインが「1回」では、取組も消極的になってしまうことが懸念される。</p> <p>目標を多少高めに設定し、本人が思いや意見を語る場の拡大や、マスメディア等への取材の働きかけなどの取組を強化することが必要と考える。</p>	57	<p>認知症の方御本人の意見を発信する機会を増やすことは認知症に対する正しい知識の普及において大変有効であり、重要と考えております。</p> <p>当初は講演会での発信を想定して、目標を「本人発信の機会の確保年1回以上」としておりましたが、講演会での発信に加え、講座、テレビや新聞、市報や各地域交流センターが発行する情報紙等のあらゆる媒体を通じた発信機会の確保も可能と考えられます。</p> <p>これらを踏まえまして、目標を「本人発信の機会の確保年1回以上」に加え、「各種媒体による発信機会の確保年5回以上」を追加することいたします。</p>

2 パブリック・コメント（市民への意見募集）の結果

- (1) 募集期間 令和5年11月28日(火)～令和5年12月28日(木)
 (2) 実施結果 意見提出者1名(提出意見1件)

いただいた御意見	該当頁	御意見に対する市の考え方
<p>① 今回の計画では認知症サポーターをグレードアップしてオレンジサポーターを養成し、認知症当事者や家族への個別支援ができるように計画されているが、支援対象者に認知症だけでなく、一人暮らし高齢者も含めたらどうか。</p>	55	<p>オレンジサポーターは、主に認知症の方（疑い含む）を支援対象と想定して、活動内容の検討を始めたところです。</p> <p>認知症の方への関り方は、認知症の方御本人や御家族からも意見を聞き、検討を進める必要があると考えております。</p> <p>一人暮らし高齢者を対象とした支援等につきましては、友愛訪問活動による地域の見守り訪問や、ふれあい型給食サービスによる取組等を実施しております。</p> <p>また、地域によっては老人クラブ等による自主活動グループがボランティアで支援に取り組みられているところもあることから、こうした既存のボランティアの方々へ認知症の基礎的な講座を行い、現在の活動に活かしていただくことで、認知症の方を含めた高齢者の支援を行ってまいりたいと考えております。</p>

3 計画（案）の変更点について

変更箇所	頁	変更内容
全体		「または」を「又は」に修正
目次		基本目標2の「住み慣れた地域で安心して生活する」を「住み慣れた地域で安心して暮らす」に修正
第1章 計画策定の考え方		
1 計画の趣旨	1	・文中「令和3年10月には」を「令和3年10月に」に修正
	1	・文中「令和4年4月からは」を「令和4年4月から」に修正
	1	・文中「7か所へと増設し」を「7か所に増設し」に修正
	1	・文中「連携した支援等の取組を進めております」を「連携した支援等の取組を進めています」
	1	・文中「こうした中、本市の高齢者人口は、令和5年3月末の住民基本台帳において56,826人、高齢化率は30.28%であり、全国的にも計画期間中である令和7年には、いわゆる団塊の世代が75歳以上となり、今後」を「本市の令和5年3月末の住民基本台帳における高齢者人口は、56,826人、高齢化率は30.28%であり、今後、本計画期間中の令和7年には、団塊の世代が75歳以上となり、さらに」に修正
2 計画の位置付け	1	・文中「介護保険法第117条の規定に基づき策定」を「介護保険法第117条の規定に基づき、両計画を一体的に策定」に修正し、「老人福祉法、介護保険法とも～ことを規定しています」を削除。
	2	・文中「老人福祉法及び介護保険法によって規定された必須項目について定める法定計画」を「老人福祉法及び介護保険法に基づく法定計画」に修正
第2章 高齢者・介護を取り巻く現状と課題		
1 高齢者福祉を取り巻く国の動き・社会情勢		
認知症施策の推進	4	・文中「「認知症施策推進大綱」（対象期間：令和7年度までの6年間）は、令和4年度に中間評価が実施されており、今後は評価結果を踏まえた認知症施策の推進が必要です」を「「認知症施策推進大綱」（対象期間：令和7年度までの6年間）に基づく認知症施策の推進については、令和4年度に実施した中間評価に基づく各種施策の推進が必要です」に修正
介護人材の確保	5	・文中「平成12年の制度創設から20年以上が経過する介護保険制度では、継続した介護サービスの提供や事業所の事業継続に不可欠な介護人材の不足への対応が喫緊の課題となっています」を「安定した介護サービスの提供、事業所の事業継続、介護サービスの質の向上に不可欠な介護人材の確保が喫緊の課題となっています」に修正
	5	・文中「令和7年やその先の生産年齢人口の減少の加速等を見据えつつ、介護ロボットや」を「介護ロボットや」に修正

変更箇所	頁	変更内容
2 本市の高齢者の現状と課題		
(1) 人口・高齢化の推移と構造の変化	6	・文中「いわゆる「団塊の世代」の」を「団塊の世代の」に修正
	6	・文中「総人口・現役世代人口が減少する中で」を「総人口と生産年齢人口が減少する中」に修正
	6	・文中「高齢者人口の増加とともに、介護ニーズが高い85歳以上の増加も見込まれます」を「高齢者人口がピークとなることが予測されます」に修正
	6	・文中「労働力人口の減少が続くことも踏まえ」を「こうした状況を踏まえ」に修正
(2) 高齢者世帯の状況	7	・文中「平成22年から」を「平成22年以降」に修正
(3) 要介護（要支援）認定者の増加	8	・文中「高くなり、認定者数・認定率」を「高くなり、要介護（要支援）認定者数・認定率」に修正
	8	・文中「認定者数・認定率は平成22年頃に」を「平成22年頃に」に修正
	8	・文中「また、要介護者や介護サービス利用者の増加は、要介護（要支援）認定の申請（新規・更新・区分変更）の増加につながることから、要介護（要支援）認定調査や」を「また、認定者や介護サービス利用者の増加は、認定申請（新規・更新・区分変更）の増加につながることから、認定調査や」に修正
(8) 地域包括支援センターの機能充実	14	・文中「複雑化、複合化してきています」の「きて」を削除
	14	・文中「多様なニーズに適切かつ丁寧に対応していくためには」を「多様なニーズに適切かつ丁寧に対応するためには」に修正
	14	・文中に「他分野の支援機関との連携強化に加え」を「やまぐちまちの福祉相談室をはじめとする関係機関との連携強化に加え」に修正
	14	・文中「相談支援体制を含む地域包括支援センター」を「相談支援体制にかかる地域包括支援センター」に修正
(11) 在宅介護の状況	19	・グラフ中「買い物」を「買物」に修正 ※ P21、P23、P47、P60、P61も修正
(12) 日常生活における支援	21	・文中「外出時の移動手段」を「外出時の移動手段の確保」に修正
	21	・文中「緊急時の対処に不安を感じています」を「緊急時の通報体制の整備が求められています」に修正
(13) 地域のできる支援	23	・文中「また、地域で支え合いの支援体制促進の一助～行っています。」を削除

変更箇所	頁	変更内容
3 介護保険制度の状況		
(1) 介護給付費の推移	25	・文中「高齢者人口の増加、認定者数の増加を反映して」を「高齢者人口と認定者数の増加を反映し」に修正
(2) 地域支援事業費の推移	25	・文中「医療と介護の連携及び認知症高齢者への支援など」を「医療と介護の連携及び認知症高齢者への支援」に修正
		・文中「令和2年度から」を削除
		・文中「自立支援・重度化防止への取組は更に重要となるため、地域支援事業費は増加傾向にあると見込まれます」を「自立支援・重度化防止の取組を更に推進することで、地域支援事業費は増加する見込みです」に修正
(3) 介護サービス基盤整備の状況	26	・表の居宅系サービスの小計欄に色を付けるように修正
	26	・文中「一方で」を「一方で、」に修正
	26	・文中「介護者が就労を継続できるように必要な介護サービスを提供する体制づくりが必要となっています」を「介護者が就労を継続できるように介護サービス提供体制の確保が必要となっています」に修正
(4) 介護人材の状況	27	・文中「介護サービス見込み量等に基づき推計した介護人材の必要数では」を「介護サービス見込み量等に基づく介護人材の必要数の推計によると」に修正
	27	・文中「また、介護労働安定センターの調査によると」を「また、介護労働安定センターの調査では」に修正
	27	・文中「介護サービスを運営する上での問題点では」を「介護サービスを運営する上での問題点については」に修正
	27	・文中「この他」を「このほか」に修正
	27	・文中「様々な課題があることがわかります」を「様々な課題があることが示されています」に修正
	27	・文中「労働人口は減少していくことから」を「生産年齢人口が減少することから」に修正
(5) 介護保険制度の理解促進	29	・文中「介護保険制度は、平成12年に創設されてから」を「平成12年に創設された介護保険制度は、」に修正
	29	・文中「3年に1度見直しが行われる介護保険制度は、」を「介護保険制度は、3年に1度見直しが行われることから」に修正
	29	・文中「制度全体が複雑なものとなっており、個別の制度内容やサービスの種類について、理解に差が生じています」を「制度内容やサービスの種類など、制度全体が複雑なものとなっています」に修正

変更箇所	頁	変更内容
第3章 計画の基本方針と基本目標		
2 基本目標と基本施策		
基本目標2：住み慣れた地域で安心して生活する	33	・基本目標2の「住み慣れた地域で安心して生活する」を「住み慣れた地域で安心して暮らす」に修正
基本施策2 認知症対策の推進	33	・文中「「本人発信」支援」を「本人発信支援」に修正
第4章 施策を推進する基本計画		
2 基本計画	37	・図中「2 住み慣れた地域で安心して生活する」を「2 住み慣れた地域で安心して暮らす」に修正
基本目標2：住み慣れた地域で安心して生活する	47	・基本目標2タイトルの「住み慣れた地域で安心して生活する」を「住み慣れた地域で安心して暮らす」に修正 ※ P47～65まですべて修正
【施策の現状】	47	・文中「地域団体等が「地域の協議体」において高齢者の」を「地域団体等が高齢者の」に修正
基本施策1：地域包括ケアシステムの充実		
取組2-1-2 (地域包括支援センターの機能充実)		
(4) 主な事業	51	・表中の事業名「地域包括支援センター運営協議会」の内容「運営に反映させます」を「運営に反映します」に修正
取組2-2-1 (認知症への理解促進・認知症高齢者等の社会参加)		
(4) 主な事業	57	・表中の事業名「本人発信支援」の目標「本人発信の機会の確保年1回以上」に加え、「各種媒体による発信機会の確保年5回以上」を追加
基本施策3：在宅生活支援の充実		
【施策の現状】	60	・文中「緊急時の対処に不安を感じています」を「緊急時の対応策に力を入れる必要があると感じています」に修正
	60	・文中「山口市社会福祉協議会による日常生活自立支援事業を利用」を「山口市社会福祉協議会が日常生活自立支援事業を実施」